

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 水辺再生課  
 担当名: ダム管理担当  
 内線: 5142

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B110	ダム等施設管理費			一般会計	土木費	河川費	河川総務費	ダム等施設管理費	
事業期間	平成28年度～平成28年度	根拠法令	河川法第17条、第66条	戦略項目		05	大規模災害への備え		
				分野施策		010503	治水・治山対策の推進		
<b>1 事業の概要</b> ダム施設は洪水調節や水道水の安定供給を目的とするため、点検、整備、補修を実施し、適切かつ効果的な運用を図る。  事務費の節減による減額補正 (1) 管理事務所運用費 △5,263千円 (5) その他 △70千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 非常勤等雇用費 非常勤職員の賃金及び交通費 7,057千円 イ 管理事務所運用費 電気・ガス・水道料金、消耗品費、燃料費、修繕費等 47,661千円 ウ 定期点検等委託費 各設備の点検、水質等観測及び警備等に係る委託料 128,739千円 エ 設備関連工事費 堆砂掘削・処分、排水ポンプ設備修繕 54,300千円 オ その他 職員の旅費、電柱供架料、備品購入費、自動車重量税等 5,778千円 カ 堆砂対策費等 堆砂掘削・処分(有間ダム、合角ダム) 166,297千円 濁水対策(有間、合角)及び漏水対策(権現堂)に係る委託料 保守点検及び雑草刈払いの経費上昇分  (2) 事業計画 有間ダム、合角ダム、権現堂調節池の適切な管理を継続し、洪水調節機能を十分発揮させると共に、利水者に安定した水の供給を行えるようにする。 ア 堆砂対策 計画以上に進んでいる堆砂量の増加を抑えるため、年間流入分の堆砂量を掘削・搬出する。 イ 濁水対策 濁水の未然防止を目的に、流況調査等を実施し、濁水の防止計画を作成する。 ウ 漏水対策 漏水により、貯水機能に支障が生じているため、その対策工法の設計を行う。 エ 点検整備 施設を良好に保つため、必要な計測、点検及び整備を行う。  (3) 事業効果 ア 堆砂量の増加を防ぎ、ダムの延命化が図られる。 イ 関係機関との調整を併せて行うことにより、濁水の未然防止を図る。 ウ 貯水機能が良好に保たれることにより、適切な運用が可能となる。 エ 施設の不良によるダムの機能低下、それに起因する災害や事故を未然に防ぐことで、より適切かつ効果的にダムを運営することができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 利水者等との共同管理施設であるため、事業の実施については関係団体と連携を密にしている。 (5) 補正予算の概要 ア 管理事務所運用費等の事務費節減による減額補正					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 有間 (県66.4%、企業局14.4%、飯能市19.2%) 合角 (県66.5%、企業局29.6%、寄居町2.0%、深谷市0.7%、小鹿野町1.2%) 権現堂 (県63.9%、企業局31.0%、茨城県5.1%)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> (1) 事業に係る人件費 9,500千円×1.1人=10,450千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△5,333	△1,881					△3,452	409,832	
現計額	415,165	164,474					250,691		